

公益社団法人 自動車技術会

2025年度（第18回）
技術部門貢献賞

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



CFD技術部門委員会

所属先

北海道大学工学研究院
機械・宇宙航空工学部門 特任教授

氏名

大島 伸行 様

【専門領域】 計算工学／流れの数値シミュレーション

【コメント】 暑い夏には北海道にいらっしゃいませ。美味しいものがたくさんあります
お待ちしております

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ガソリン機関部門委員会

所属先

エイヴィエルジャパン(株)

パワートレインエンジニアリング事業部

氏 名

野寄 高宏 様

【専門領域】 ガソリン機関、エネルギー

【コメント】 趣味は、仕事とJリーグ観戦。推しは、ヴィッセル神戸。

ヴィッセル神戸の井手口選手は、試合中は、ドックランに放たれた犬のように走り回り
ハーフタイムも走ってロッカールームに戻ります。

彼のように、いつも走り続けていたい。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ガソリン機関部門委員会

所属先

日本特殊陶業株式会社
プラットフォーム開発センター 技術開発部

氏名

森 清輝 様

【専門領域】 ガソリンエンジン用スパークプラグの点火・着火に関する研究開発

【コメント】 これからもエンジニアとしての情熱に点火し続け、これからのモビリティ社会に貢献する技術開発へ挑み続けます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ガス燃料エンジン部門委員会

所属先

スズキ株式会社

氏名

井上 裕章 様

【専門領域】 エンジン燃焼・適合技術

【コメント】 内燃機関技術は、カーボンニュートラル実現に向けたマルチパスウェイの中で、今後も重要な役割を担う分野だと考えています。これからもエンジンに関わる一人として、その可能性を追求していきたいと思います。

技術部門貢獻賞



金 尚奎 様

今後も、たとえ1%の燃費改善であっても、積み重ねられるよう努力を続けます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



大気環境技術・
評価部門委員会

所属先

日産自動車（株）法規認証部

氏 名

渡辺 宏江様

【専門領域】 環境法規

【コメント】 趣味はマラソンです。「継続は力なり」を信条に、遠くのゴールを見据えながら、一歩一歩の積み重ねを大切にしています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



燃料潤滑油部門委員会

所属先

マツダ株式会社 クルマ開発本部 パワート
レイン技術開発部 PT要素技術開発Gr.

氏名

飯田 晋也 様

【専門領域】 ガソリンエンジン燃焼系のモデルベース開発

【コメント】 燃焼技術の研究開発を通じて、現象理解を設計指標に昇華し、カーボンニュートラル社会に向けた高効率エンジン技術の創出に取り組んでいます。『走る歓び』を感じ続けられる未来を目指し、CO2排出削減とエンジン性能の両立に挑戦していきます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



排気触媒システム部門委員会

所属先

東京科学大学 工学院システム制御系

氏 名

佐藤 進 様

【専門領域】 リアルワールドにおける排出ガス解析／排気後処理／エンジン燃焼

【コメント】 趣味は車のカスタマイズ，自作PC。リアルワールドにおける未規制物質の排出実態の解明を目指して，学生とともに日々，奮闘しています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



計測・診断部門委員会

所属先

株式会社 日立製作所
研究開発グループ

氏 名

島田 敦史 様

【専門領域】 燃焼検知・燃焼制御

【コメント】 趣味はゴルフと家庭菜園。
環境変化にどう対応していこうか、と考える日々です。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



持続可能な自動車社会検討
部門委員会

所属先

みずほ銀行 ソーシャルイノベーション
コンサルティング部

氏 名

築島 豊長 様

【専門領域】 自動運転等のデジタル技術の社会実装に向けた政策立案・事業化支援

【コメント】 デジタル技術やAIの進展により、人間の役割が徐々に変わり、「情熱・美意識・優しさ・倫理観」といった人間の感性や人間同士の深い「信頼」関係が、今まで以上に大きな価値を生む時代が迫っています。人間らしさを胸に、邁進します。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



モビリティ社会部門委員会

所属先

東京工科大学

片柳研究所・未来モビリティ研究センター

氏名

須田 義大 様

【専門領域】 車両運動制御 ITS HMI 自動運転

【コメント】 車両の研究開発を通じて、多様な文化や価値観を体験できる旅行を楽しんでいます。国内では、全国全都道府県への宿泊を達成しました。海外においては、全ての大陸は制覇できていませんが、写真はユーラシア大陸の最西端、ロカ岬を訪れた時のものです。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



電気動力技術部門委員会

所属先

早稲田大学 理工学術院

氏 名

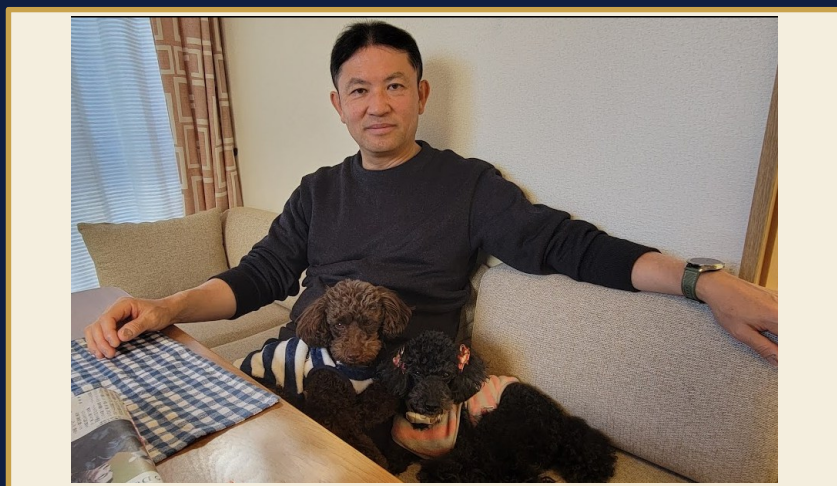
廣田 壽男 様

【専門領域】 電動車両技術の研究

【コメント】 ソーラーカーの実用化に取り組んでいます。ペロブスカイトなど画期的な太陽電池の登場に加え、EV電費の大幅な削減も重要な研究課題と感じています。もういちどEV技術の基本に立ち返əri考えなおしたいと思っています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



電気動力技術部門委員会

所属先

株式会社SUBARU 車両環境開発部
(現：株式会社ジーテクト 生産本部・技術本部)

氏名

廣瀬 隆 様

【専門領域】 電動・駆動システム開発／電動ユニット・トランスミッション・AWD制御開発

【コメント】 地球温暖化対策で車の電動化が進む中、産業の発展には「走る楽しさ」との融合が必要不可欠です。環境への優しさと走る楽しさを両立した、誰もが胸を躍らせる未来の車づくりを！ 次世代の若手エンジニア達を応援しています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ワイヤレス給電システム
技術部門委員会

所属先

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域

氏名

岡田 実 様

【専門領域】 MIMOワイヤレス給電、無線通信システム

【コメント】 技術とは、無数の制約の中で最適解を模索する「前向きな妥協」の営みだと考えます。ワイヤレス給電もまた、効率・安全性・コスト・法規制といった制約との折り合いの結晶です。委員会の皆様とともに、幸せを呼ぶ「妥協点」を追求していきます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞

昭和
新山



蓄電システム技術部門委員会

所属先

(株)本田技術研究所 四輪研究開発センター
エネルギーストレージシステム開発室
バッテリーデバイスシステム開発ブロック

氏名

筒井 淳 様

【専門領域】 リチウムイオンバッテリーの車載適合開発

【コメント】 趣味は天然鉱石の収集。中でも好きな鉱石はラブラドライト。見る角度によって表情を変え、虹色の輝きを放つのが特徴です。私自身もラブラドライトのように、多彩な個性を発揮しながら周囲に良い影響を与えられる存在でありたいと考えています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



車載用パワーエレクトロニクス
技術部門委員会

所属先

日産自動車株式会社 総合研究所
先端材料・要素技術研究所

氏名

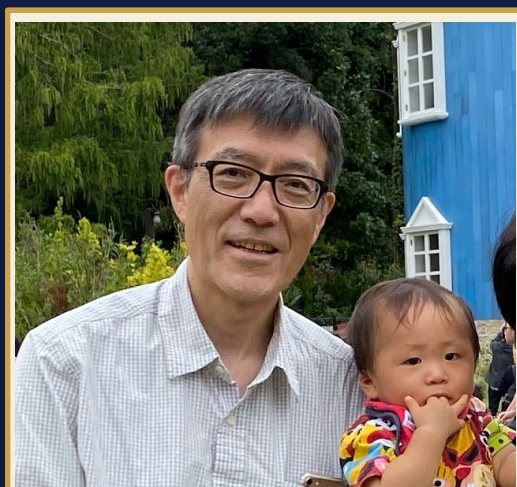
矢野 新也 様

【専門領域】 パワーデバイス/パワーモジュール/パワーエレクトロニクス

【コメント】 自動車産業を取り巻く環境、働き方が大きくが変化する世の中において、お客様も一緒に働く仲間も喜んでもらえる技術を追求して研究に精進して参ります。身に余る賞をいただき、誠にありがとうございました。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



燃料電池部門委員会

所属先

東海国立大学機構

名古屋大学 未来社会創造機構

氏名

吉田利彦 様

【専門領域】 燃料電池・水素・カーボンニュートラル

【コメント】 カーボンニュートラルとは、安価で利用しやすい化石燃料に依存してきた経済社会を、水素などの脱炭素エネルギーを中心とする仕組みに転換し、経済合理性も成立させようとする、途方もない試みです。この宿題を孫に託すことなく解決したいものです。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



動力伝達系部門委員会

所属先

三菱ふそうトラック・バス株式会社 小型
先進エンジン／駆動系開発部

氏名

吉川 英樹 様

【専門領域】 電動トラックの電動機・動力伝達系

【コメント】 働く車の電動車は良い点が沢山あります。でも現実には、まだまだお客様に選んでもらえている状況ではありません。技術者としてどうしたら悩む日々です。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



CVT・ハイブリッド部門委員会

所属先

日産自動車株式会社 パワートレイン・EV
コンポーネントシステム技術開発部

氏名

太田 義和 様

【専門領域】 パワートレイン設計・実験

【コメント】 カーボンニュートラルの実現に貢献したいと考えています。電動化技術だけでなく、エネルギー利用を含めたシステム全体の最適化が重要だと考えています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



車両運動性能部門委員会

所属先

株式会社豊田中央研究所
パーソナライズドモビリティ研究領域

氏名

服部 義和 様

【専門領域】 車両運動/制御、ADAS/自動運転、ヒューマンファクタ/ヒト中心設計

【コメント】 車を操る楽しさに魅せられてこの道に進んだ。その純粋な「好き」という気持ちを忘れず、人とモビリティの新しい関係を切り拓いていきたい。自動化が進む時代だからこそ、人の能力や感性はますます重要になる。技術は人に代わるためではなく、人を輝かせるためにある。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



車両特性デザイン部門委員会

所属先

トヨタ自動車 モビリティ安全製品開発部

氏 名

濱口 剛 様

【専門領域】 ドライバモデル/運転特性

【コメント】 コロナ以降、長い距離のランニングはご無沙汰になったものの、短い距離でも頻度高く継続しています。技術開発も急に進むことはまれなので、小さくても継続的に地道に続けていきたいと思います。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



アクティブセーフティ
部門委員会

所属先

日野自動車株式会社

氏 名

濱口 裕 様

【専門領域】 大型車の運転支援、自動運転、車線維持制御

【コメント】 すべての人に優しい交通システムの実現を目指して、精進してまいります。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ヒューマンファクター
部門委員会

所属先

筑波大学・システム情報系

氏 名

齊藤 裕一 様

【専門領域】 人間機械システム

【コメント】 自分にできることは微々たるものですが、学生の目の色が変わるような指導に励みつつ、この分野の発展に少しでも貢献できる道を探っていきたいと思います。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



ドライバ評価手法検討部門 委員会

所属先

ヤンマーホールディングス株式会社
中央研究所

氏 名

吉岡 直人 様

【専門領域】 人間工学，生体医工学，データサイエンス

【コメント】 初めて人間の研究に携わったとき，一人ひとり違う難しさを痛感すると同時に奥深さを感じました．10年経った今もなお，その難しさと楽しみながら向き合っています．

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



インパクトバイオメカニクス
部門委員会

所属先

マツダ株式会社

クルマ開発本部 衝突性能開発部

氏 名

泉山 朋大 様

【専門領域】 衝突安全、特に衝突時の人体傷害発生メカニズムに関する研究開発

【コメント】 リアルワールド死亡重傷ゼロ実現を目指して、前職で培った医学の知見を活かし、今後もAll Japanで邁進して参ります。引き続き、宜しくお願い致します。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



エレクトロニクス部門委員会

所属先

スタンレー電気株式会社
技術戦略企画室

氏名

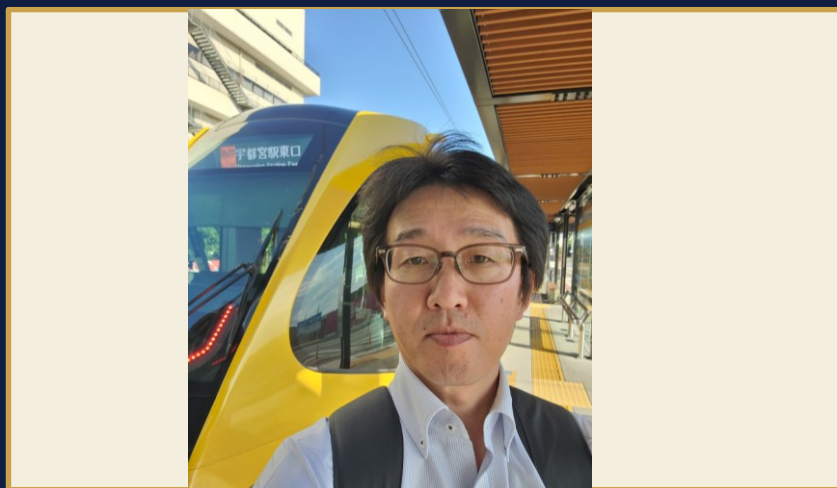
中舘 弘一 様

【専門領域】 車両電装品の制御システム開発・設計・検証

【コメント】 進化するモビリティを通じて、人々の豊かな移動体験と安全・安心の実現に貢献します。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



映像情報活用部門委員会

所属先

日本大学工学部

氏名

高梨 宏之 様

【専門領域】 制御工学，メカトロニクス，マイクロモビリティ

【コメント】 予防安全の分野に関わり始めて約15年。技術の進化は早いですが，自身の知識をバージョンアップすることを忘れず，今後も学生たちと一緒にいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



事故自動緊急通報システム
部門委員会

所属先
日本大学

氏 名

西本 哲也 様

【専門領域】 傷害予測アルゴリズム，交通事故調査解析，衝撃生体力学

【コメント】 工科系と医科系大学とが連携した交通事故の研究として，個々の患者様のケガと壊れたクルマを調査しています。「ダミー傷害値をみずして人体傷害をみる」

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



タイヤ／路面摩擦特性部門
委員会

所属先

日本ミシュランタイヤ株式会社

氏 名

齊藤 由典 様

【専門領域】 タイヤ、振動・騒音、車両運動、CAE

【コメント】 業務や委員会活動を通じて世界中の人から刺激を受けることができており、感謝しています。これからも日本の良い点、世界から学ぶ点などを広めていけるよう努めていきたいと思います。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



流体技術部門委員会

所属先

(株)トヨタガズーレーシングディベロップメント 車両技術部

氏名

貴家 伸尋 様

【専門領域】 自動車空力

【コメント】 純粋な物理学としての面白さもあり、自動車の性能を決める重要な要素でもあり、スタイリングに関われる喜びもある、それが空力の面白さだと思っています。これからは見えない空気を味方につけてより良いクルマづくりに励みます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



伝熱技術部門委員会

所属先

千葉大学 大学院 工学研究院

氏 名

窪山 達也 様

【専門領域】 内燃機関の燃焼，伝熱技術

【コメント】 研究・教育・学会活動を通じて、内燃機関の高効率化に加え、電動化やカーボンニュートラル燃料の利用拡大など、自動車技術の将来を支える基盤技術の発展と持続可能な社会の実現に貢献できるよう、努力してまいります。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



振動騒音部門委員会

所属先

トヨタ自動車 車両技術開発部

氏名

森田 英憲 様

【専門領域】 振動騒音

【コメント】 世界中の人を笑顔にすることを目指してクルマの開発を行っています
自身の技術と行動で少しでも笑顔を量産することをモチベーションにこれらも精進します

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



車外騒音部門委員会

所属先

ヤマハ発動機株式会社
法規品質保証部

氏名

若田 成久 様

【専門領域】 二輪車排出音の低減技術や特徴分析に関する研究

【コメント】 乗り物を運転、操縦することが好きで機会あるごとに様々な乗り物の操縦に挑戦しています。乗り物が排出する音には、運転者が不快と感じなくとも、他の方には不快に感じる事があり、その折り合いをつけるためにはどうしたら良いのか、日々考えています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



音質評価技術部門委員会

所属先

マツダ株式会社

氏 名

清水 勝矢 様

【専門領域】 振動・騒音・音質

【コメント】 NVHによる動的質感の高まりにより心の平静と活性化をもたらし、いきいきとする体験をお客様にお届けできるよう、より一層努めてまいります。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



車室内環境技術部門委員会

所属先

京都教育大学 教育学部

氏名

深沢 太香子 様

【専門領域】 被服衛生，温熱生理，温熱的感觉評価

【コメント】 山頂は見えていても，なお遠い。それでも，一步ずつ，自分の足で進む。研究もまた，「不思議だな，どうしてだろう？」という素直な好奇心を原動力に，人や社会にとっての意義を見失わず，探究の歩みを一步ずつ重ねたいと思っています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



国際標準記述によるモデル
ベース開発技術部門委員会

所属先

東京科学大学 工学院機械系

氏 名

瀬谷 修 様

【専門領域】 1D-CAE、MBD

【コメント】 高精度シミュレーションモデルの範囲を電気から機械、熱、制御に拡大して自動車のシステムレベルでの最適化をシミュレーションで実施できるように貢献したいと考えています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



国際標準記述によるモデル
ベース開発技術部門委員会

所属先

AZAPA株式会社

氏 名

市原 純一 様

【専門領域】 モデルベース開発／システムズエンジニアリング／エンジン制御

【コメント】 MBDは具体を抽象化し、本質を見極める技術。皆が方向性に共感し、具体化へ踏み出すその積み重ねが、世に新たな価値を生むハーモニーとなる。そんな技術を極めていきたい。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



構造強度部門委員会

所属先
山梨大学

氏 名

岡澤 重信 様

【専門領域】 非線形有限要素法・構造解析・衝突解析

【コメント】

日本の自動車技術のさらなる発展に貢献できるよう、教育・研究に全力で取り組んでいきます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



構造強度部門委員会

所属先

日産自動車株式会社

氏 名

山岸 道弘 様

【専門領域】 衝突CAE

【コメント】 AI×CAEで新たな価値を創造し、自動車技術の発展に貢献していきたいです。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



構造形成技術部門委員会

所属先

株式会社 神戸製鋼所
技術開発本部ソリューション技術センター

氏 名

内藤 純也 様

【専門領域】 構造力学、鋼材アルミ材の利用技術開発

【コメント】 複数の金属素材を扱うマルチマテリアルサプライヤーの立場から、これからも、より良いクルマづくり、車体づくりに貢献していきたいと思えます。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



疲労信頼性部門委員会

所属先

マツダ株式会社

氏名

河井 範之 様

【専門領域】 車両の強度信頼性

【コメント】 初めて自動車を運転した時の感動を忘れず、これからも安全・安心でワクワクするクルマ創りに貢献していきたいです。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



材料部門委員会

所属先

スズキ株式会社 材料技術部

氏名

古川 健一 様

【専門領域】 樹脂材料／鋼板材料

【コメント】 趣味はゴルフと読書。ゴルフのスイングにも仕事にも「かた」があります。まずは良い「かた」を身に付けることが成長への近道。その上で日々の積み重ねを続け、昨日の自分を少しずつ超えていきたいと思っています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



材料部門委員会

所属先

芝浦工業大学 工学部 機械工学課程

氏 名

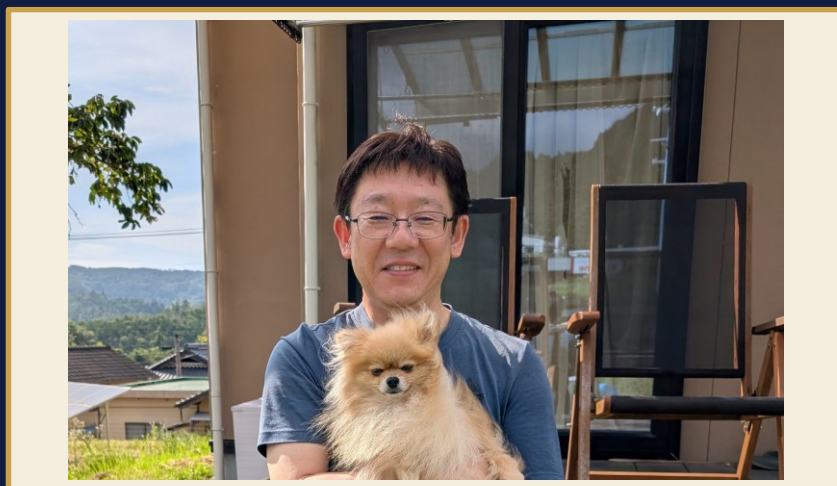
青木 孝史朗 様

【専門領域】 材料加工・組織制御・接合技術

【コメント】 工学に携わり教育を実践する者として、自動車を愛好し次世代の開発を担える学生を一人でも多く育て、社会へ送り出すことで貢献を続けたいと考えています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



リサイクル技術部門委員会

所属先

トヨタ紡織株式会社
サステナビリティ領域 CN/CE推進室

氏名

羽柴 正典 様

【専門領域】 材料工学/バイオマス材料/リサイクル材料

【コメント】 私は「一緒にワクワクできる仲間を増やすこと」を大切にしています。仕事でもプライベートでも、さまざまな人とつながり、新しいことに取り組むことで、可能性は大きく広がります。これからも多くの人とのつながりを楽しみながら、いろいろと挑戦していきたいです。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



地元の島根県
松江城にて、娘と

生産加工部門委員会

所属先

ヤマハ発動機株式会社 生産本部
PTアルミ技術部

氏名

小倉 純一 様

【専門領域】 生産技術（鑄造工法開発、量産技術）

【コメント】 日本はモノづくりで成長を果たした国、もう一度豊かな国にしたい
クラフトマンシップとデジタルを融合させ、顧客の心を打つモノとコトを届けたい
そのために愚直に働きながら、皆様と協業協奏、共に発展できることを願っています

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



生産加工部門委員会

所属先

神戸大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

氏 名

鈴木 教和 様

【専門領域】 生産工学，機械加工，デジタルツイン

【コメント】 世の中の変化は速くなる一方ですが，年齢を重ねるほど，大切なのは目先の成果よりも本質的な問いにじっくり向き合うことだと感じています。本質を見失わず，次の世代の礎となるような知識や技術を残せる仕事に取り組んでいきたいと思っています。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



製造技術部門委員会

所属先

マツダ株式会社 技術本部
生産企画部

氏名

杉山 裕基 様

【専門領域】 IE/生産性評価・管理技術、人財育成

【コメント】 委員長はじめ幹事の皆様とは、技術面以外でも多くの刺激と気づきを頂いております。仕事も趣味も、一生現役の気持ちで基本を磨き続け、これからも成長していきたいと思います。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



デザイン部門委員会

所属先

ダイハツ工業株式会社 デザイン部
デザイン統括室

氏 名

岡野 守展 様

【専門領域】 意匠開発 / 人材育成

【コメント】 新入社員との世代間ギャップを強く感じながらも人材育成を楽しんでいます。
仕事が上手くいく・否かはコミュニケーション次第。

公益社団法人 自動車技術会

技術部門貢献賞



モータースポーツ部門 委員会

所属先

WOMEN IN MOTORSPORT
LOVEDRIVE RACING

氏 名

藤井 順子 様

【専門領域】 レース関連（ドライバー／チーム運営／後続育成など）
マーケティング関連（アナリスト／モデレーター／コンサルタント／講師）

【コメント】

レースウィークは、いつもトラブルの連続！ 少しの事では動じなくなり、即応力・適応力・柔軟性・処理能力などが鍛えられる、面白い現場です。このようなレース現場、普通に生活していると縁遠く感じ、入り方が分からない・・・そんな皆さんの懸け橋になれたらと考えています。
モータースポーツ業界の人材不足&高齢化に、歯止めをかけたいですね！